

梅毒ばいどくが急増しています

梅毒ってどんな病気？

どうやって感染する？

梅毒の病変部位と粘膜が直接接触すること(主に**性的接触**)等によって感染する。

治療できるの？

早期の薬物治療で**完治可能**。しかし、完治しても感染を繰り返すことがある。

昔の病気じゃないの？

感染者は1960年代以降治療薬の普及により抑えられていたが、この数年は全国的に**増加中**。

どんな症状がでる？

陰部に痛みのない硬い潰瘍ができて消え、全身の発疹等ができる。(※詳細は裏面へ)

放置するとどうなる？

早期は無症状の場合もあるが、放置すると脳や心臓に合併症を起こすことがある。

赤ちゃんにもうつる？

妊娠中に感染して治療しないと、赤ちゃんにもうつり、早産・流産などのリスクがある。

● 感染症法届け出による梅毒報告数の推移 2013-2024年



2013-2023年：国立感染症研究所 感染症発生動向調査事業 年報 2024年：NESID感染症発生動向調査 年報(2025年5月12日作成)



● 大分市における年代別報告数 2024年



● 多くみられるのは、**男性では20～60代、女性では20代**でしたが、男女ともに**10代からも**みられています。

1度でも性行為の経験がある方は梅毒に感染している可能性があります。

自分は初めての性行為でも、相手は初めてではないかもしれないし、病気になっているかは見た目ではわからないことも多いです。

● 梅毒の症状の経過

1期
3週間～

口唇部、陰部、口腔内にしこり
鼠径部のリンパ節腫脹



写真1

2期
3か月～

発熱、手・足や体に
赤い発疹（バラ疹）、
脱毛



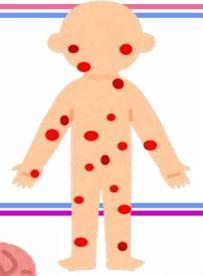
写真2



写真3

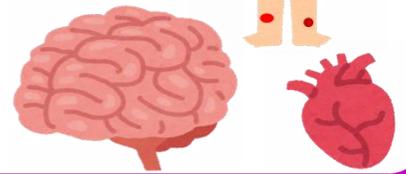
3期
3年～

皮膚や筋肉、骨などに腫瘍（ゴム腫）



4期
10年～

脳や心臓、血管に病変



梅毒は「偽装の達人」とも呼ばれ、感染させる危険性がある状態でも微熱程度の軽い症状だけであったり、典型的な症状がなかったりすることがあります。そのため、**血液検査**を受けなければわかりません。

参考：東京都感染症情報センター 画像出典：写真1・2：一般社団法人日本性感染症学会、写真3：Li S., et al.Hair loss and lymphadenopathy.BMJ,2019 ※イラストはイメージです。

● 梅毒の予防・検査

性行為の際はコンドームを適切に使用しましょう。
ただし、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため
コンドームで100%予防できると過信はしないようにしましょう。



もし皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。抗生物質を正しく服用すれば治すことができます。治療は皮膚科、泌尿器科、産婦人科などで受けられます。診断には簡単な血液検査が必要です。



大分市保健所でもHIV(エイズ)検査と併わせて
梅毒検査を行っています。



無料

匿名

予約制



お問合せ先

097-537-8190

(エイズ専用電話)

※詳細はHPをご覧ください